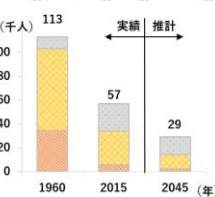


1章：「佐渡島の金山」を擁する佐渡市の現状

課題	佐渡市の持続的な発展を見据えた、交流人口の増加や外貨獲得*の必要性
可能性	佐渡市の資源を活かした観光振興

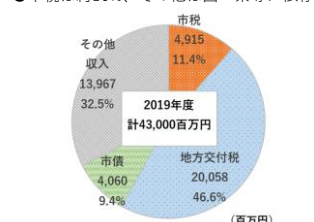
<人口>

●人口減少・高齢化が進行
 65歳以上 15歳～64歳 0～14歳



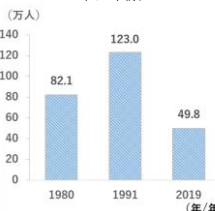
<財政>

●市税は約10%、その他は国・県等に依存



<入込客数>

●1991年度にピークを迎え、2019年は半減



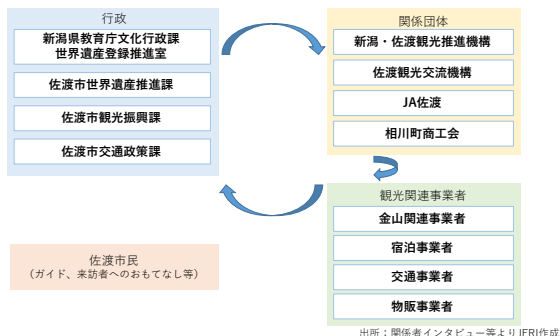
<交流人口・外貨獲得>

●佐渡の資源を活かした観光振興による、交流人口増加や外貨獲得



4章：多様な関係者に対するインタビュー結果概要

課題	世界文化遺産登録の実現及び観光振興による地域活性化に向けた連携及び財源確保
可能性	各関係者による個人客の受入体制構築、世界文化遺産登録による市全体への恩恵の明示



2章：「佐渡島の金山」世界文化遺産登録に向けて

課題	新型コロナウイルスによるユネスコ世界遺産委員会延期、世界文化遺産登録に対する市民の機運醸成の必要性
可能性	世界文化遺産登録を契機とした観光振興

<市民アンケート結果：佐渡市の活性化にとって必要なこと（個人）>

●市民は世界文化遺産登録の推進以上に担い手や人口減少等への対策を重要視

順位	項目	回答数	割合(%)
1	担い手や人材の育成	724	12.7
2	佐渡航路の利便性の向上	676	11.8
3	定住対策により、島外からの移住者を増やすことによる人口減少の歯止め	588	10.3
4	子育て支援による出生数の増加	518	9.1
5	地産地消の推進	467	8.2
(6位～10位まで中略)			
11	佐渡金銀山の世界遺産登録の推進	238	4.2
12	幹線道路などの社会資本の整備	214	3.7
13	3つのプログラム（佐渡金銀山、世界農業遺産、佐渡ジオパーク）の推進	156	2.7
14	佐渡金銀山をはじめとする地域資源を活用した滞在型交流観光の推進	174	3.0
(15位～18位まで中略)			
合計		5,722	100.0

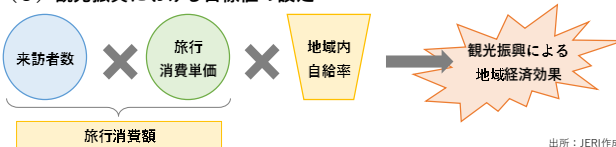
出所：佐渡市「第2次佐渡市将来ビジョン案（令和2年3月）（2020年7時点）」資料編 市民アンケート調査結果

5章：世界文化遺産としての「佐渡島の金山」の活用による経済効果と保存

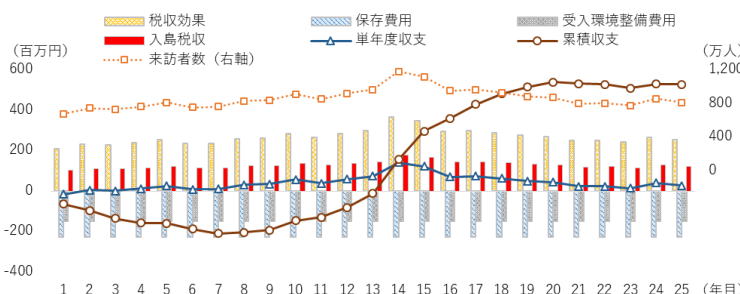
課題	世界文化遺産登録を契機とした観光振興における目標値の設定と遺産の保存費用等の確保
可能性	佐渡市の目指すべき将来像の明確化

地域経済活性化を見据えた観光振興における重要な着眼点

- 消費単価と自給率の向上
- 収容能力指標の検討
- 観光振興における目標値の設定



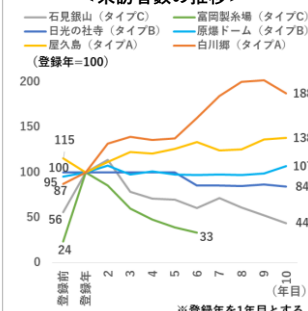
「佐渡島の金山」の持続的な活用と保存に向けての考察



3章：先行事例研究

課題	世界文化遺産登録による効果が一過性となる懸念
可能性	来訪者数を継続的に確保するため、世界文化遺産単体ではなく、地域の一体的なPR

<来訪者数の推移>



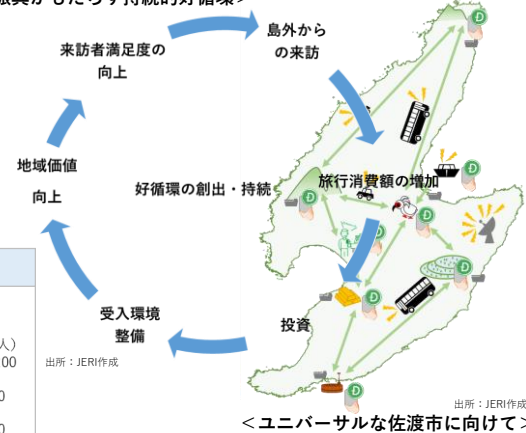
<タイプA・B・Cへの着眼点>

タイプ	主な事例	着眼点
タイプA 登録により希有	屋久島 白川郷	来訪者数増加によるオーバーツーリズムに伴う弊害の発生 予約制の導入による来訪者数のコントロール、遺産保存費等への協力金の充当
タイプB 観光資源の活用	原爆ドーム 日光の社寺	世界文化遺産以外にも有名な観光資源が存在している地域の「面」としての魅力の発信
タイプC 登録後に減少	石見銀山 富岡製糸場	世界文化遺産以外の地域資源の魅力発信 一見だけでは分かりにくい世界文化遺産の価値に関する丁寧な説明

まとめ：「佐渡島の金山」世界文化遺産登録を契機とした地域価値の向上

課題	持続可能な佐渡市を目指すため、世界文化遺産登録を見据えた取組みの検討/実施
可能性	MaaSの導入、キャッシュレス化の推進、インフラの高度化等によるユニバーサルな佐渡市の実現

<観光振興がもたらす持続的好循環>



<ユニバーサルな佐渡市に向けて>

<世界文化遺産登録を見据えた取組み>

- 将来ビジョンの策定及び役割分担の明確化
- 将来の担い手確保及び育成、並びに体制づくり
- 保存と活用に向けた財源の確保

出所：JERI作成